（4）吸気弁のセット　図７

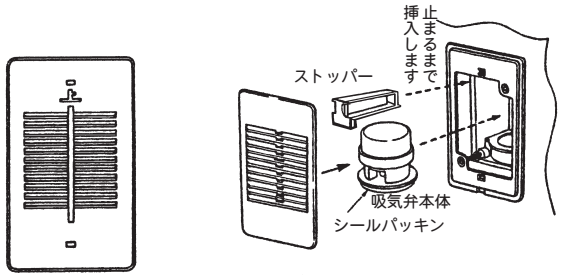

図７

①吸気弁本体を挿入する前にもう一度、ボックス内を清掃してください。
②吸気弁本体のシールパッキン側を下にした状態にし、ボックス部の奥まで挿入します。上下以外の方向性は、特にありません。
③ストッパーを挿入して、吸気弁を固定します。ストッパーは挿入方向を誤らないよう、配慮してありますので、所定の方向以外に無理に挿入しないようご注意ください。
また、抜く時に硬い場合は、ドライバー等でこじって下さい。
④最後に蓋をセットします。蓋の裏面に上文字が彫刻されてますので、上文字を上にしてください。

５．その他ご注意点
①本製品は吐き出し機能はありませんので、正圧解消を目的とした設置はしないでください。
②製品の保管にあたっては、製品にゴミやほこり等付着しないようご注意ください。
③浴室等の湿気が多い場所の壁面にも、蓋を設置しないでください。
④専用ホースが極端に偏ぺいしていましたら、ご使用しないでください。
⑤適用排水規模やホース設置等でご不明点がありましたら、当社にご連絡ください。

下記に各支店のご案内をしますが、更に当社ホームページ
http://www.maezawa-k.co.jp/　より最新の営業所一覧
がご覧いただけます。

前澤化成工業株式会社

本社　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町2-7-1　NOF日本橋本町ﾋﾞﾙ　☎ 03-5962-0711(代)　FAX.03-5695-0161

■北日本支店　〒980-0811　仙台市青葉区一番町4-6-1　仙台第一生命ﾀﾜｰﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ　☎ 022-748-4288(代)　FAX.022-748-4366
■北関東支店　〒330-0841　さいたま市大宮区東町2-20　三井住友海上大宮東町ﾋﾞﾙ　☎ 048-647-8833(代)　FAX.048-647-9825
■東 京 支 店　〒136-0071　東京都江東区亀戸2-22-17　日本生命亀戸ﾋﾞﾙ　☎ 03-6807-0668(代)　FAX.03-6807-0737
■中 部 支 店　〒460-0003　愛知県名古屋市中区錦2-9-29　ORE名古屋伏見ﾋﾞﾙ　☎ 052-218-6921(代)　FAX.052-218-6920
■関 西 支 店　〒541-0052　大阪市中央区安土町3-3-9　田村駒ﾋﾞﾙ　☎ 06-6268-0071(代)　FAX.06-6268-0072
■中 国 支 店　〒730-0805　広島市中区十日市町1-1-9　鷹匠ﾋﾞﾙ　☎ 082-294-6425(代)　FAX.082-294-6428
■九 州 支 店　〒810-0074　福岡市中央区大手門2-3-11　HTCﾘﾍﾞﾙﾃ大手門ﾋﾞﾙ　☎ 092-771-7151(代)　FAX.092-761-0194

JI 03

マエザワ
排水用スリム吸気弁２５取扱説明書
ＨＢＶＵ２５セット

本書は、施工および設計に携われる方々を対象とした内容になっております。
入居者または設置物件をご利用される方々は、対象としておりません。

この度は、排水用スリム吸気弁２５（以下吸気弁という）をご採用いただきありがとうございます。本書は吸気弁を正しく取付け、ご使用いただくために主要事項を記載しました。施工の前に必ずお読みください。また、いつでも見られる場所に保管してください。

注意　この記載事項を無視して取扱った場合、製品に不具合を生じ、臭気漏れ等が発生することが想定されます。

- 吸気弁本体及び専用継手を分解することはしないでください。
- 施工前の保管に際して、車中等の高温になるような所に長時間保管しないでください。
- 施工に際し、付属品以外の部材は使用しないでください。
- 本製品は作動時、外気の吸い込み音および排水管路内を流下する排水音が発生します。**居間や寝室等に面した壁面側**への設置はしないようお願い申し上げます。
- 適用できる配管規模より大きな配管システムには使用できません。
- 排水立て管の高さは、３階建て規模までとします。

１．**本製品の主な機能と特長**
①戸建て住宅設置の大便器の排水性能向上とエアー吸い込み音抑制（ゴボゴボ音持続の短縮）に効果があります。
②壁内に家電用コンセント同様に収まり、居室内の美観を損ないません。
③フレキシブルな専用ホースの使用により、設置個所の自由度が優れています。

２．**構成部品　図１**
本製品の構成部品は、大きく分けると　①**吸気弁本体**　②**ボックス部**　③**専用継手**　④**専用ホース**の４つです。

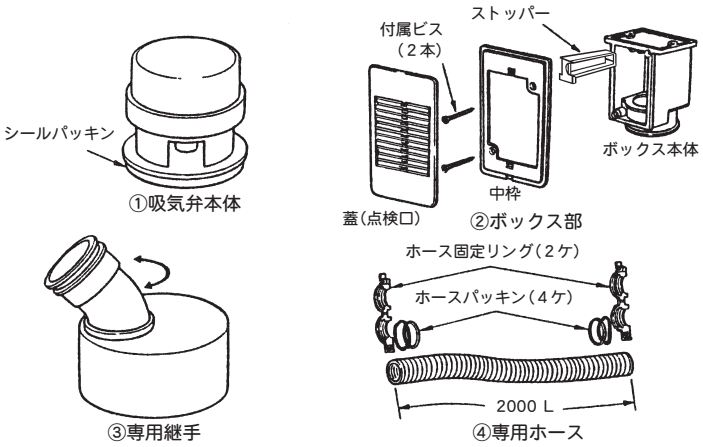

図１

３．設置位置および適用できる配管規模

（１）設置位置　図２

図２に本製品の設置形態の一例を示します。通気管の取り出し方法は、専用継手を使用して取り出します。専用継手は呼び径７５の接着受口に適合します。吸気弁は壁体内に設置します。吸気弁と専用継手は専用ホースを用いて接続します。
吸気弁の設置高さは、排水器具のあふれ縁から１５０㎜以上に位置させてください。
なお、同一の横枝管に複数の排水器具があれば、その中で一番あふれ縁の高い排水器具を対象として１５０㎜以上の位置に設置します。

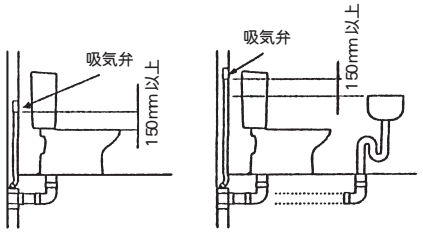

図２

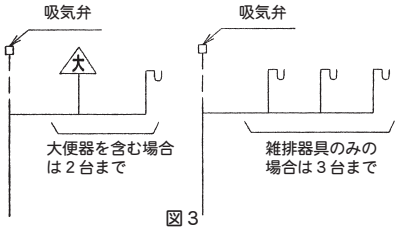

図３

（２）適用できる配管規模　図３

①便器を含む場合は、２台までとします。ただし他の１台は雑排水系統の器具としてください。
②雑排水系統の器具構成のみの場合は、３台までとします。

４．取付方法　図４

（１）ボックス本体部の固定

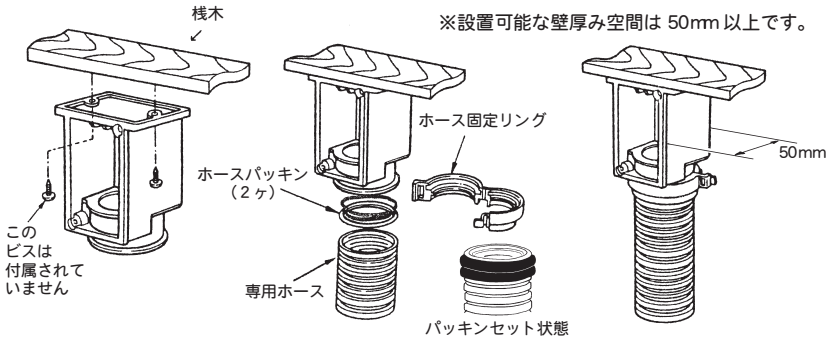

図４

①ボックス本体は、桟木に２箇所ビスで固定します。必ず垂直姿勢としてください。
②専用ホースにホースパッキン２ヶをホース端部に取付け、（パッキン内面形状の突起部をホース先端から１つ目と２つ目の谷間に位置させます。）ボックス接続部に挿入します。更に固定リングでセットします。なお、挿入がきつい場合は付属の滑材をご使用ください。また、ホースに過度の無理曲げや偏芯はさせないでください。

（２）専用継手部の設置　図５

専用継手は、呼び径７５の接着受口に適合します。また、エルボ部分は可動構造となっておりますので、設置現場毎に適正な方向に合わせてください。

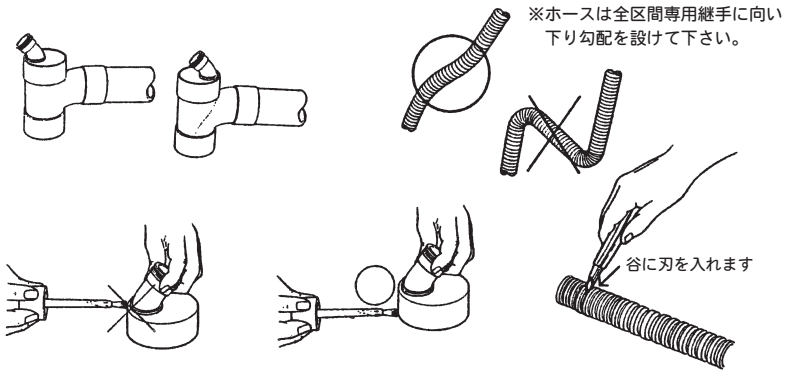

図５

①接着方法は通常の塩ビ配管と同様です。なお、接着剤塗布の際、エルボの可動部に付着しないようご注意ください。
②専用ホースの接続は、ボックス本体部の取付方法と同様です。また、専用ホースは途中にたるみができないように配置させます。専用ホースが長すぎて、たるみが生じるようでしたら、カッターで切断してください。

（３）ボックス部と壁面の施工手順　図６

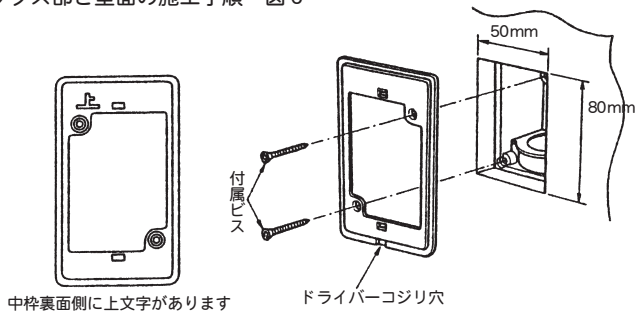

図６

①壁材の裁断寸法は、８０mm×５０mm（縦×横）としてください。
②中枠とボックス本体で壁材を夾みこむように、付属ビスにて固定します。中枠は上文字を上にします。蓋を取り外す際のドライバーこじり穴が下側に位置します。
ビスを締め過ぎると中枠が変形しますので、なるべくインパクトドライバーのご使用は避けてください。
③ボックス内は、ごみやほこり、石こうボードかす等が残らないようにしてください。